



2007. 4
NO.

9

発行 猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会
住所 福島市杉妻町2番18号
(事務所 福島県生活環境部環境保全領域水環境グループ)
TEL 024-521-7258 FAX 024-521-7927
■ホームページ http://www.ht-net21.ne.jp/~kosuikyo/
■E-mail kosuikyo@ht-net21.ne.jp

みずみらいつうしん

湖美来通信

「次代に残そう紺碧の猪苗代湖、清らかな青い湖。裏磐梯」

第5回猪苗代湖・裏磐梯湖沼 フォトコンテスト(平成18年度)入賞作品	2~3
平成17年度 猪苗代湖・裏磐梯湖沼群の水質測定結果概要 ~猪苗代湖の水質4年連続日本一!~	4~5
平成18年度 協議会活動報告	4~5
おすすめスポット 読者プレゼント	6

平成18年度

第5回 猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテスト入賞作品



最優秀賞

「洗心修行の滝」 遠沢不動滝(猪苗代町) 伊藤留夫さん(大玉村)

湖美来基金は、水環境保全活動を支援しています。

第5回

猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテスト(平成18年度)

入賞作品

平成18年11月1日(水)に審査会を開催し、最優秀賞ほか15点の入賞作品を決定しました。多くの方々にご応募いただき、ありがとうございました。

優秀賞

「夏の朝」猪苗代湖 大野弘一さん(喜多方市)



「夜明けの湖」猪苗代湖 佐々木俊昭さん(福島市)



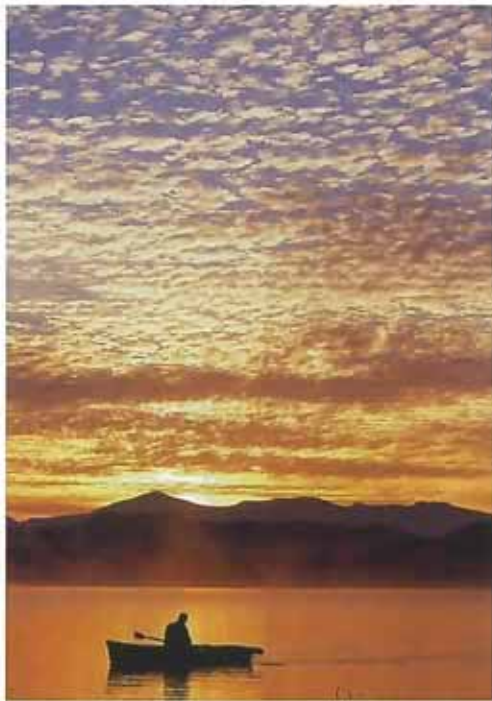
入選



「蓮の葉氷」猪苗代湖天神浜 伊藤松男さん(郡山市)



「初夏の風物詩～じゅんさい摘み」裏磐梯 五十嵐善一さん(喜多方市)



「うろこ雲」 曾原湖 真部信太郎さん(喜多方市)



「落日」 猪苗代湖天神浜 清野文彦さん(福島市)

佳作



「氷痕」 猪苗代湖天神浜 河野善次さん(福島市)



「赤いしぶき氷」 猪苗代湖浜路(郡山市湖南町) 関口忠則さん(郡山市)



「波紋」 猪苗代湖中田浜 相沢恵久子さん(福島市)



「静寂」 曾原湖 斎藤俊典さん(福島市)



「寒風の贈り物」 猪苗代湖天神浜 中村ミツ子さん(福島市)

湖美来クラブ特別賞



「夏の鬼沼」 猪苗代湖鬼沼 田村喜彦さん(郡山市)



「春の予感」 猪苗代湖天神浜 清野欣子さん(福島市)



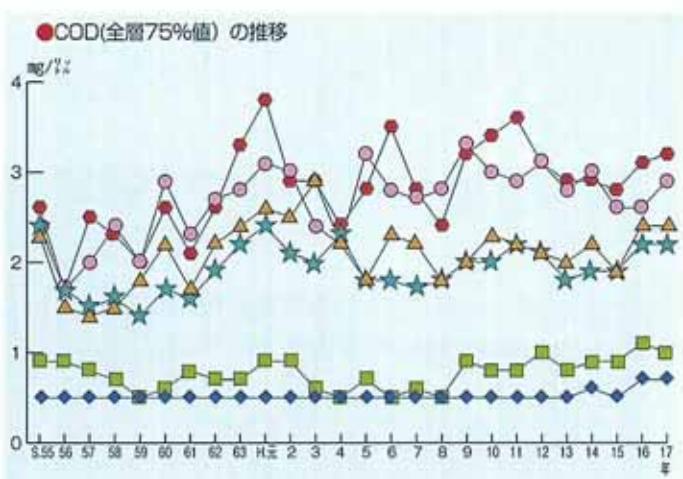
「朝もやの小野川湖」 小野川湖 佐藤英次さん(南相馬市)

猪苗代湖の水質

4年連続日本一!

環境省がまとめた平成17年度の公共用水域水質測定結果で、猪苗代湖が平成14年度から4年連続で日本一になりました。

猪苗代湖・裏磐梯湖沼群の水質測定結果



平成17年度の猪苗代湖の湖心のCODは、平成16年度と同じ0.7略／略でした。裏磐梯湖沼群では、概ね横ばい傾向ですが、前年度と比較すると秋元湖と曾原湖では、わずかに上昇しています。

●COD (化学的酸素要求量)

●平成17年度 湖沼の水質 (同順位あり)

順位	湖沼の名称	都道府県	CODの値
1	猪苗代湖	福島県	0.7
1	支笏湖	北海道	0.7
1	倶多楽湖	北海道	0.7
1	坂本ダム湖	奈良県	0.7
5	旭川ダム	秋田県	1.0

平成18年度協議会活動報告

猪苗代湖裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会は、「猪苗代湖及び裏磐梯湖沼水環境保全推進計画」に定める基本的目標「次代に残そう紺碧の猪苗代湖、清らかな青い湖。裏磐梯」の達成に寄与することを目的に活動しています。



▼県民参加による猪苗代湖のボランティア清掃と学習会 (6月17日)



地元・猪苗代町はもとより、福島市や南相馬市の方など、事務局の予想を大きく上回る100名の皆さんに参加をいた

できました。

猪苗代湖の水質や自然環境についての学習会を国民宿舎「翁島荘」で行った後、長浜の湖岸に流れ着いた枯枝、枯草やペットボトル、菓子袋などのゴミを拾い集めました。



▼裏磐梯湖沼観覧会 (8月18日)

五色沼探勝路～松原湖遊覧船
～秋元湖～秋元発電所



裏磐梯の自然や五色沼の動植物についてエコガイドの方に説明していただきながら、3.6kmの探勝路を歩きました。普段は見過ごしてしまう草花や木々の名前、特徴を教わりながら、青・赤・緑・エメラルドグリーンなど様々な色をみせてくれる五



色沼と裏磐梯の自然をたっぷり満喫しました。

また、松原湖の遊覧船では、湖上から磐梯山の噴火跡の岩肌をくつきりと見ることができました。

水力発電のエネルギーとなっている秋元湖と秋元発電所の

●猪苗代湖のpH
(水素イオン指数)

湖心のpHは、6.4でした。pHの値は平成8年度以降年々上昇しており、中性化が進行しています。

●湖水の中性化



碓氷山麓の湧出水

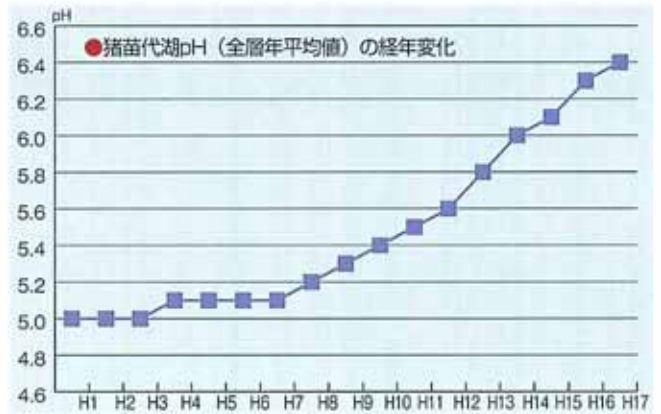
猪苗代湖の上流に位置する安達太良山の中腹には硫黄鉱山跡や沼尻・中ノ沢温泉の源泉がありますが、ここから湧き出てくる強酸性の水が、長年、猪苗代湖を水質のきれいな酸性湖にしてみました。

ところが、近年、湖水の中性化が進んできたため、猪苗代湖の持つ自然の浄化作用が働かなくなり、水質が悪化するのではないかと心配されています。

福島県では、県内外の専門家とともに中性化の原因解明に取り組みしていますが、日本一美しい猪苗代湖の水質を守るため、生活排水や農業排水による汚濁を少しでも減らすよう一人一人が水環境保全の意識を持つて行動することが大切です。(写真提供：福島県環境センター)



温泉源泉



見学では、その膨大な水量に驚きの声があがりました。



▼猪苗代湖上流域・下流域
相互理解交流会
(10月25日)

会津若松市において、猪苗代湖の上流域住民と下流域住民の相互理解を深めることを目的として、猪苗代湖の水利用施設見学会とパネルディスカッションを開催しました。



猪苗代湖の水は、小石ヶ浜水門や戸ノ口堰を通じて、水力発電やかんがい用、水道用の水源として利用されており、会津が米所・酒所と称されるのもこの豊かな水があつてこそ、と言えます。

猪苗代湖の水の利活用の理解を深めるため、戸ノ口堰(布藤堰取水口)、戸ノ口堰洞穴、会津若松市最初の浄水場である滝沢浄水場を見学しました。

また、パネルディスカッションでは、上流域・下流域それぞれの地域で活動される方々、猪苗代湖水を利用するなど密接な関わりのある方々から、環境保全への取り組みについてお話いただきました。



▼猪苗代湖・裏磐梯湖沼
水環境保全フォーラム
(11月27日)



猪苗代町の「ホテルリステル猪苗代」で水環境保全フォーラムを開催しました。

裏磐梯湖沼で定期的な水質調査を行っている高橋一泰さんと、郡山市湖南町で川の大切さを多くの人に知ってもらうとイベントの開催などを行っている「水と緑を守る舟津川愛護会」の吉井孝征さんより、活動内容について発表していただきました。

続いて、猪苗代湖の湖底の調査結果について、福島県環境センターから報告がありました。

最後に、猪苗代湖と並んで全国トップクラスの水質を誇る北海道支笏湖の「NPO法人支笏湖まちづくり機構Newsテージ」代表理事白石一人さんから、支笏湖におけるまちづくり・地域づくりについて講演をいただきました。

